



北海製罐従組 かねて新
争議体制へ 団協締結

と賃金ペーシス引上げ(平均税込み
一万八百日を一万五千円とする)
多会社側に要求していた小樽市北
浜町北海製罐従組(旧東洋製罐)
約四百名は三十一日交渉決裂し一

日から争議体制に入った
キヤラメルを配給

小樽市では幼児用としてキヤラメ
ル(フルヤ、岡本、池田)六万六
百六十個を七日ごろから満一歳以
上六歳までに二人約三個の割合で
一個二十円のもの配給する予定

文化

山内弥一郎
(道日本画協会)



宗教の現状と将来

山本新

宗教の現状と将来... (The text in this column is mostly illegible due to blurriness and low resolution, but it appears to be the beginning of an article discussing the current state and future of religion.)

四人に一人

商大の入学試験

小樽商大の本年度入学試験は一日から三日間同校で行われた。募集人員百四十名に応募千二百二名（うち女子九名）約八人に一人の割合はげしい競争だったが当日三百五

名が欠席したため四人に一人の割合今日早急となつてやゝ競争率がやわらいだ

一、二日は英、数、国などの筆記

という

試験で、三日は身体検査のみ、合

またA

格発表は八日夜に繰上つた、試験

が市の

場はさすが緊迫した空気がたゞよ

底から

い、ことに女子受験生のひたむき

等に独

な姿が印象的であつた

びに予

（写真は緊迫の氣濃う試験場）

ばかり

く、保

清潔な

病院

公立四

科四、

八、皮

病所は七

別三、

リカ六割、イギリスが一割を占めついでドイツ、ニュージーランドとなつており、小包はほとんどアメリカに限られ情報はロンドン三割、サンフランシスコ一割が目立ち、ついでダンテンロツテルダム、ハンブルクの順

皆様の!!

染

(藤山染料)

小包
いずれ
貿易界
倍
は

昭和 25 年 4 月 2 日

新 道 北 刊 夕

全勢力をあげて都下一円十数ヶ所
にわたつて寝込みを襲つたが検挙
の対象となつたものは高連隊、賭
博者、テキ屋、親分子分の組織を
もつて恐喝、暴行を常習とするも
の、誹謗を張いながら実はユス
リなどを業とするものなどあらゆ
る暴力団体で、このため去る三月
十五日極秘のうちに暴力団掃蕩本
部を設け総監を本部長、古屋刑事
部長、渡辺防犯課長を副部長に内
偵を進めていたものである、警視
庁の暴力団狩りは昭和二十二年六
月の関根組、同十月の尾津組をは
じめとしてすでに十数ヶ所におよ
んでいるが、管下全警察を総動員

ニシンだより

天賣で四十石

【羽幌産】三十日夜四十石の水揚
をみた天売島のニシン漁は三十一
日夜また三十石の漁獲があり後稔
様は良し、なお同ニシンは浜渡し
八十円で留萌方面に出荷された

厚田で十石

石狩支庁への入港によれば三十一
日朝厚田村一帯で刺網により約十
石の漁獲があつた

カプト岩で五石

【小樽産】三十日午後十時ころ支庁郡カ
プト岩の付近本間、板本の漁獲で
四、五年生の成魚五石を漁獲、後
稔なし

濱益で十石

【小樽産】三十日午後十時ころ支
庁郡濱益の漁獲で十石を漁獲、後
稔なし

寝巻の

風王

この日浦島捜査第二課長
に同課中野刑部補を指揮
する警視庁第二班の一行十
夜も白みかけた午前五時
地下道に集合、浅草、万世
三層の応援をえて台東区
四八の福田すよ方に乗込
界隈の悪連隊、風天の吉
福田春男（こ）を検挙した
午前六時上野地下道を出発
行は折からの小雨をついて
福田方に急行、刑事隊はそ
表口と裏口を固めるうちに



首席

病



新聞の主な記事は、
福田中野刑部補を指揮
する警視庁第二班の一行十
夜も白みかけた午前五時
地下道に集合、浅草、万世
三層の応援をえて台東区
四八の福田すよ方に乗込
界隈の悪連隊、風天の吉
福田春男（こ）を検挙した
午前六時上野地下道を出発
行は折からの小雨をついて
福田方に急行、刑事隊はそ
表口と裏口を固めるうちに



五、六割、多いと見られて
 といふれも税金が昨年よりふえて
 いる、こうした税金を避けて農民
 同盟が秋の収穫期まで延滞を交差
 したり(原状)騙るものない地
 方では家畜を売り払い、その結果
 町全体の牛が昨年より三割方減つ
 た(新樽)とか、納めきれず心配
 のあまり自殺した(下志文)とい

△田中知事三重県
 政府で真向からケン
 ゴウの非難を浴びた道
 管團源開発はとこまで
 たたるのかたたるのか
 お騒がせで

あきれた道予算の審議

△田中知事三重県
 委員会に入つても予算委員
 会の補充質問が提出すると
 いうタラ〜審議、最後の
 士たん編で激賞されても道
 民は「立派です」とは義理
 にもいえない、暫定予算と
 いつても人件費に需要費た
 け二体事業費はどうしたら
 よいのだと赤レンガのお役
 人がボヤクのも無理がない
 こう予算が遅れればお役
 所のタラタラ仕事に拍車を
 かけるだけ、会期一ぱい予
 算と四つにぐんで延長なし
 の歯切れよい審議はできな
 いものか、会期延びれば
 歳費で議員トクする、会期
 延びれば税金で道民
 ソンするでは開え
 ません

△旧留萌人石を道
 が四千万円で買収し
 て鉱工業の研究所に
 するといふ追加予算
 が七日の道議会に提
 案された、この買
 収に研究費も利用で
 きるし飲物その他の
 研究に道が本腰を入
 れるためだそうだが
 話だけでは誠に結構
 だがこれも種を廻つてみる
 とヒモ付き予算の二つ、開
 くところによる道議員の
 選挙スローガンでもあると
 いう、しかもこれが政争の
 具に供されて野党互争の
 け引きに出したい、ひひひ
 めたじ、あの道議会の閉
 合でいひひひひひひひひひ
 したトタンに道議員の
 選挙スローガン、野党互争の
 具に供されて野党互争の
 け引きに出したい、ひひひ
 めたじ、あの道議会の閉
 合でいひひひひひひひひひ

総十

東川四十万といふれ
 上を繰返し北見市の
 円ノストツクをたふ
 なりたムニツツ、カ
 以て切下げ、これを
 物資と預合むせて投
 ようと湧り出したと
 昨品ばかり売れてか
 物資はほとんど売れ
 赤字の上めりをした
 例もある

◇...こうした農村の不
 農民の階層分化はか
 われ池田町では二万
 もつ者は全体のわず
 七割が二万円以下と
 粟沢町でも最高は二
 者もいるが零の者も

政府は八日の臨時閣議
 ころ国会提出を目
 は九折償還社と口
 ス再議の政府監督
 れる、両法案とい
 いまのところ審議

△道議会の閉会式
 日本経済新聞記者
 である十折償還社
 これを中止し、

力むがしれぬがとんでもな
 い、道民にすればあきれて
 物がいきないというところ
 しかも、国会をまねたわけ
 でもあるまいが四月暫定予
 算を組んであるから安心
 といわれても春日運々の予
 算審議にはおいそれと達成
 できない

△...さういふ道議会のあき
 ば道議会の会費かけ引き
 ヒモ付き予算を起した切
 たのひひひひひひひひひ
 道議会の閉会式
 日本経済新聞記者
 である十折償還社
 これを中止し、

任期)委員長は二年、委員は五
すれも再任を妨げない

職の禁止)委員は報酬を得る
職についてはならない、また
的政治活動をしてはならない

選)委員長ならびに委員の待
國務大臣に選ずる
務局)委員会に事務局をおき
(一名)技監(一名)をおき
地方に支局をおくことができ
共同)

道の第一四 二十五年

期電力割当 度第一

の本道に対する電力割当計
さのとおり決定、八日札幌
から発表された

一三四、八八〇MWH
期一二、七四〇MWH減)
四月 五月 六月
電力 電力 電力
用二、五五二、八四二、〇三三
三、〇〇五、七六八
三、七五五、〇三三
三、〇〇五、〇三三
三、七五五、〇三三

氏に西川氏

羽創立総会

株式会社(資本金六千万
は八日午後三時から
開かれ、出席者は以下の通り

代表取締役社長西川清吉(ほか
に代表取締役二名は未定)▽取締
役員本政一、曾藤勝寿、服部春二
吉野恒三郎、西原一郎、藤田又良
坂田政義、宮坂寿美雄(ほか三名
未定)▽監査役林孝一、道または
道議事から一名、拓銀一名

国立水研究足近し

道水試の一部が近く国営に移管さ
れ今月末から国立道海区水産研究
所として新発足する

樽商大合格者

逢坂信吉

田中俊勝、鈴木晃、鈴木清、中藤
均、滝沢耕、渡辺良吉、星野光宏
葛木実、武田光男、大寺稔、林忠
生、神田敏、山田章一、柳沼保
男、筒井厚一、山際信二、伊藤健
雄、高津寛、袖潤学、村上正樹、
中橋加久見、宮塚健、小山三郎、
両角靖二、中村健一、作山登、小
川五郎、岩橋義次、掛田正美、河
野裕二、小野寺泰三、佐々木信一
今井彦弥、塩谷春夫、藤沢伸行、
太田達策、舟水正、佐々木安一、
村田雅信、田村俊雄、岩谷敬之介、
中村康吉、山俊男、菱田敏、平井誠
治、渡辺昭則、原正夫、有沢勉、
渡辺忠雄、野辺地謙夫、内田弘、渡
辺正男、万谷通、山田耕作、瀬崎重
弘、長井通、真谷悦二郎、西谷昌
久、川西昌和、木部茂、関口豊、
西谷京口、山崎亮一、東北保徳、
福岡四郎、川田博司、伊吹亮一、
牧口行雄、渡辺武、池田雄亮、阿
野知典、吉原市郎、山田一夫、藤
原義雄、平野昌彦、長岡豊、上元

孝次郎、沢田孝、左藤進、斎藤隆、
木戸正雄、三須敏弘、五十嵐浩、
吉米地和夫、池田皓一、三村榮、
草野武、我妻博、加藤進二、水野
進、小川昭治、渡辺軍雄、塚本勝、
小祝聰一郎、狭間昭博、半谷祿郎、
岩本潤、高木英治、酢谷宏、武田
雄三、加藤三郎、戸田耕輔、高田
幸雄、石川清隆、佐々木彌之助、
中西国雄、藤田悦夫、酒井正晴、石
塚進、山田英暉、工藤祐司、渡辺
一雄、宮尾昌夫、穂鷹秀式、三井
茂市、小山勲、勝山守、梶浦泰幸、
渡部英一、馬場信彦、市橋長昭、
河原俊朗、西郡久、宮村二郎、遠
藤泰行、鬼頭建治郎、紀国憲一、
平野恵一、塚本芳朗、工藤守、八田
政美、近江斌、住吉章、加藤浩、
村上昭彦、江縁正夫、宮路大作、
樋口克巳、門前昭彦、千葉尚、川
義一、鶴木元司、田村利晴、村岡晴
夫、岩下卯吉、渡辺弘行、本多英
郎、吉田弘道、平元英雄、永淵修、
島田周幸、四宮和興、佐藤功、石
黒広、所哲也、島村稔、小南隆、
小林弘、石田健、前田達也、競忠
夫、相馬博美、棚田忠正、渡辺祐
夫、福村千脚、坂本昭、熊谷均、
柚木良三、福島潤二、敷谷政和、
菊地俊克、石井壽、河辺巨夫、西
村孝造、梅田真、和田親衛、末田澄
男、長谷川宏、渡辺憲三、辻浩一
芝崎洋一、森曼朗、渡邊吉朗、左
藤富夫、伊藤卓、小沼守、井上洋
一、福井久雄、沢村正治、野股一
也、佐藤浩一、福島英人、白井康
也、伊藤伸、岩本庸一、佐藤千久
彦、田村隆、越中幸夫、古田昌彦
武田孝、川上利郎、山崎誠治、地

(二百)も有
目下のところイ
はベルギーむけ
方安く、中長ウ
フロア・ブライ
だが引合値は
青エンドウは採
百四十一ルに対
三十五ル、輸出
な悩みはあるが
一の買気は十分
はいままでベル
に輸出される際
られていたので
なればすつと有
と業界は早くも
している



△十六日小樽出航
ル号で北販浦扱
がロンドンむけ
△西ドイツむけ
ルは昨年秋トンあ
千で売れそうた
百四十五ルに下
期待薄
△伊藤組木材では
ナラ板単板五万平
から積出す
△東洋綿花札幌支
油一万五千単位を
月末積出からアメ
なお七千単位もの
積出中
△種更物産扱いで
よる香辛料の出
ち二百が両方の
した、なお同社
か台高初積四千
期出荷など、ナラ
積立、さきさき

△種更物産扱いで
よる香辛料の出
ち二百が両方の
した、なお同社
か台高初積四千
期出荷など、ナラ
積立、さきさき

△種更物産扱いで
よる香辛料の出
ち二百が両方の
した、なお同社
か台高初積四千
期出荷など、ナラ
積立、さきさき

を承認、引きつゞき第九号附
改正案から十三号水道料金追上
例改正案までは若干の意見があ
つて原案通り承認、休業後
海坊不景は苦しい教育界の実情で延期することを条件として原案

基礎の修正意見が出、これをめく
つて論議がわき結局徴税の適正を
はかるために納期を四月二十日ま
で延期することを条件として原案

女子の高等教育は無理か

北大子科女子受験生四十七名が枕
を並べて討死し女子の低い学力が
改めて反省されているおひから昨
日小樽経専に入学した三名の女子
学生の在学状況と女子学力不足の
原因を追求してみよう——
昨年小樽高女から小樽経専へ入
学したのは三名であつたがこれ
はいずれも師範卒あるいは女子
医専在学中のものたちでこのこ

とは男子中等学校卒業生の学力
に辛うじて女子専門学校生の学
力が追付いているということをも
物語っているものだ、彼女達三
名の経専在学一ヶ年を調べてみ
ると総合成績は上、中、下に各一
人づつという状況で学校当局で
は「女子学生は商品学、国語、
商業概論などの比較的暗記を
主とする学科にすぐれた成績を
示しているが語学は例をたぐ芳

予算に計上されたものとの間に
九十二銭の差が出ているかいか
なる理由か、監査委員は一應認
定の署名はしているが果して決
算書に目を通したのか、地方自
治体でございませぬと監査委員の責
任を求めたが川崎委員は「三、監
査提出の時期を協議して
いたこと」

専ら料理やお裁縫

基礎学科に大きな欠陥

の教育方針が根本的な原因とな
つており戦時中は語学を選択料
目としたためほとんどこれを自
習する生徒がいなかつた、また
新制高校に備え小樽高女で
は自由な選択によつて教科課程
を組み立てるため現在自習学科
の希望を生徒からとつているか
英語希望者が圧倒的に多く男子
と同様の教科課程を希望するも
のが半数以上を占めている

数学は男五時間、女三時間、国
語はほぼ同時間、理科は男子自
習時間の八割程度という貧困さ
で一方家庭科（裁縫、料理、育
児）は全時間の四分の一の八時
間を占めている

北海道新聞

木し 巾異
發行所
北海道新聞
札幌市大通西三丁目六番地
編集印刷発行人 戸倉

カキル

一粒精神爽快能率百倍
期待望の銀粒・發賣
20圓(税共)
東京・大同製菓

五十四圓、近畿地方、二十六日
中国地方、二十七日本北陸地方
がはいれあすト
全通 二十五日午前四時より
地区(北海道、四国、関東、
内、札幌、支那の各地)より
地盤一せいで二十四日午後
なほ全国的に雪が降り、ある